

おわりあさひの環境 ✿

平成28年度環境基本計画年次報告書

- 平成27年度の実績、現在の進捗状況及び
今後の取り組みに向けて -

【平成28年度クリーンシティ推進運動ポスター受賞作品】



市長賞（城山小学校 足立夕莉さん）



市議会議長賞（本地原小学校 青井翠月さん）



教育委員会教育長賞（旭丘小学校 高木はなさん）

平成28年12月
尾張旭市 環境課

I 尾張旭市環境基本計画の概要

1 計画の概要

(1) 計画の目的

本計画は、尾張旭市環境基本条例（平成16年条例第23号）に基づき、今ある環境を将来の世代に、より良くしながら継承し、誰もが健康で快適な市民生活を営むため、市、市民・市民団体、事業者が協力し、環境に配慮した総合的な取組みを示すことを目的としています。

(2) 計画期間

長期的な視点に立って環境の保全や創出に取り組むため、平成19年度から35年度までの17年間を計画の期間としています。

(3) 中間見直し

本計画は、策定時からの環境や社会経済情勢の変化、そしてこれまでの進捗状況や市総合計画を始めとした上位・関連計画の内容などを踏まえ、平成26年度に施策や指標の見直しなどを行いました。

2 望ましい環境像

将来あるべき姿を考え、全員参加で環境の保全と創出に取り組むことのできるまちを目指し、望ましい環境像を次のように定めています。

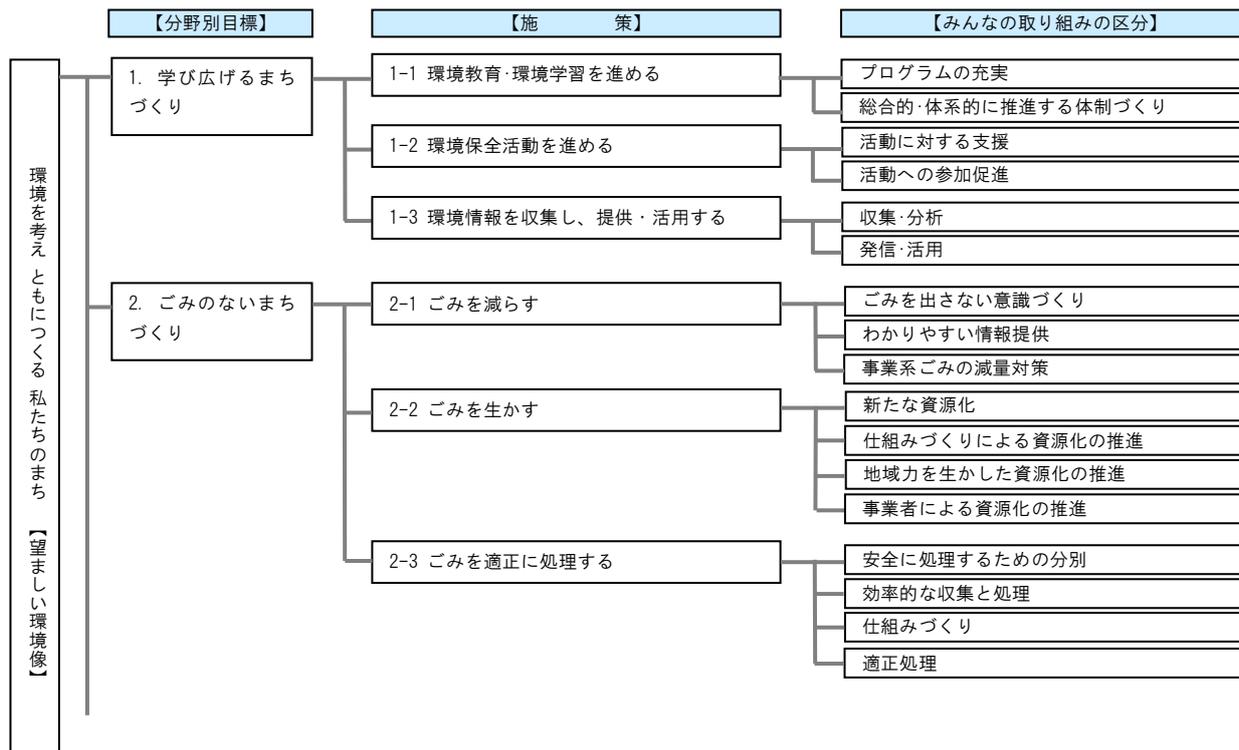
環境を考え ともにつくる 私たちのまち

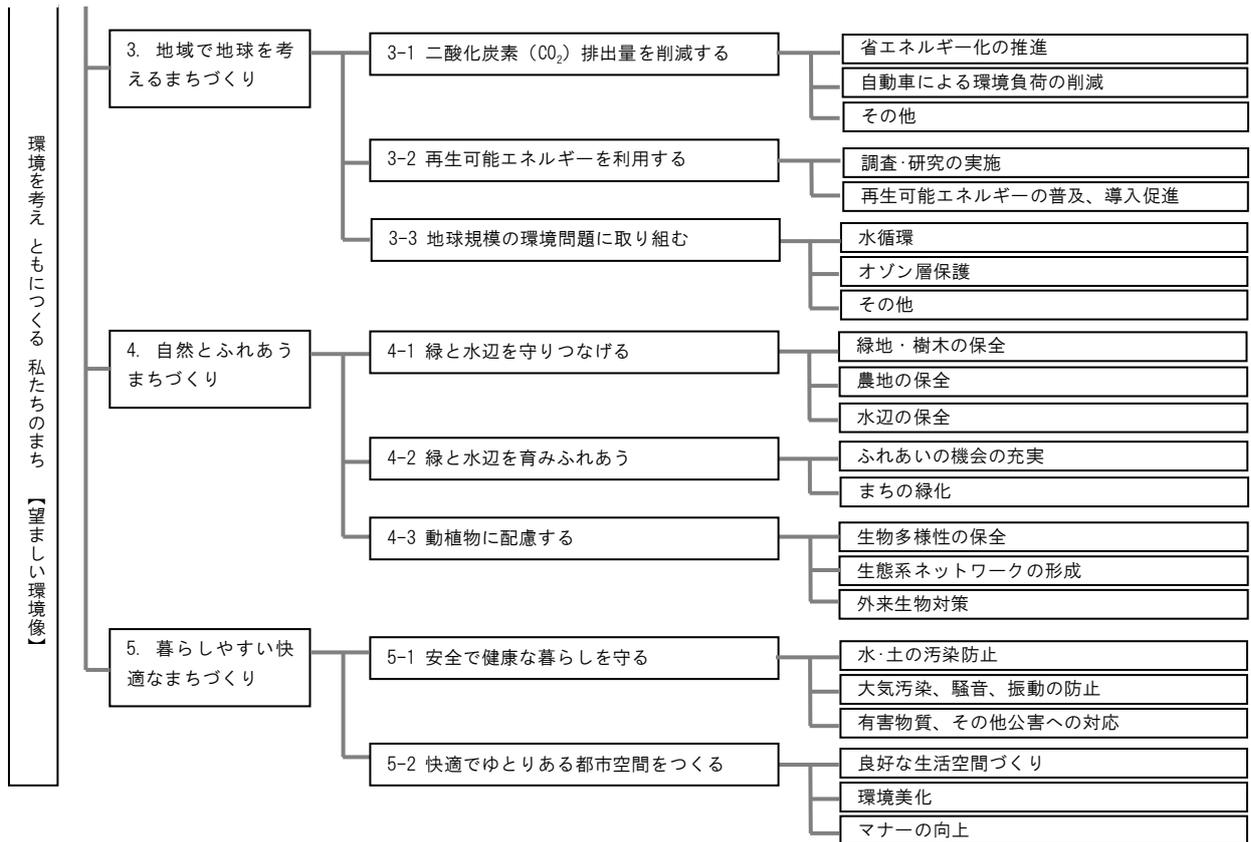
3 施策の体系

本計画では、望ましい環境像の実現に向けて、5つの「分野別目標」と14の「施策」を設定しています。また、それぞれの「施策」を実現するため、「みんな（市、市民・市民団体、事業者）の取組み」を設定しています。

なお、平成26年度に実施した「環境基本計画の中間見直し」では、特に「ESD*の視点に基づく環境教育の推進」と「省エネルギー化・再生可能エネルギー導入の推進」、そして「生物多様性の保全」の3点に着目して、施策や指標の見直しなどを行っています。

*ESD：持続可能な開発のための教育

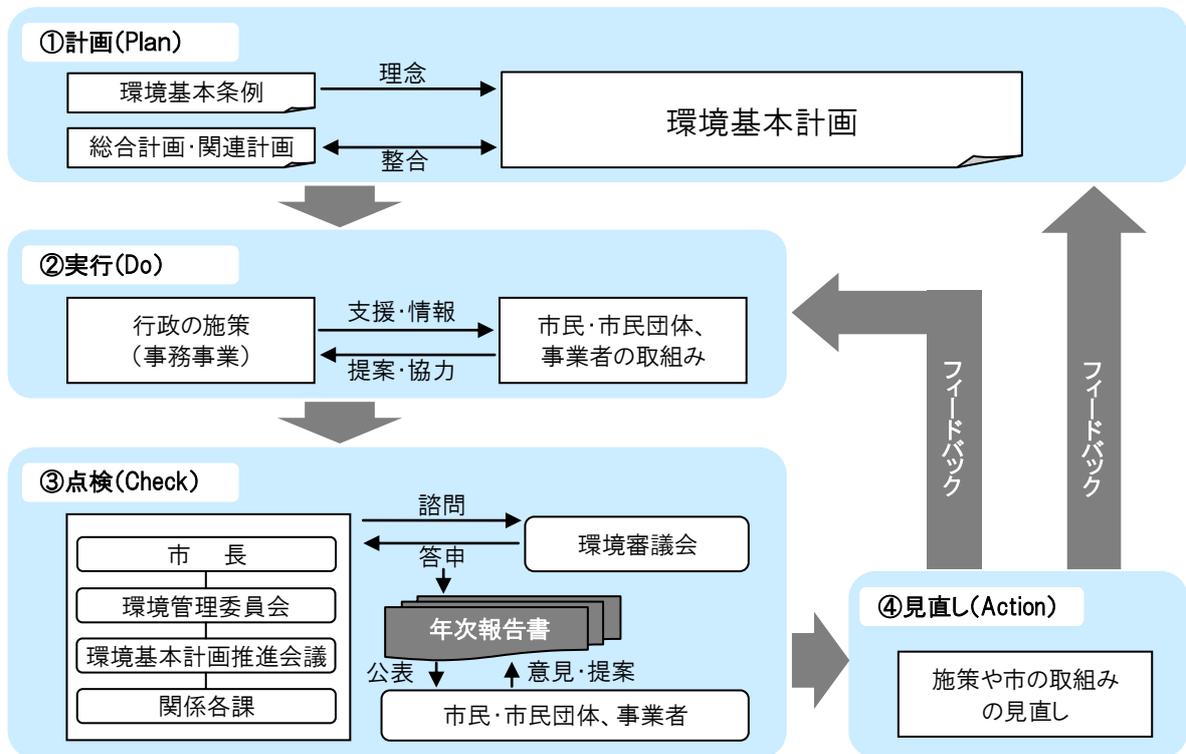




4 計画の進行管理体制・年次報告書

全ての主体が連携・協働のもと計画を着実に推進するため、次の推進体制によって進行管理を行っています。

また、市民や事業者の皆さんからいただいたご意見を、その後の施策や進行管理に生かしていくため、計画に基づく取り組み状況を毎年点検・公表し、「年次報告書」としてまとめています。



II 平成27年度の実績と現在の進捗状況

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の状況

「みんなの取り組み」の実施によって、施策の目標へ向かっているかを見る「指標（モノサシ）」の状況（平成27年度）を、中間見直し後の基準値（平成24年度実績値）と比較した結果、全40指標中 ○（基準値に対し数値が改善又は長期目標値を達成）が、21件（全体の52.5%）
△（数値に大きな変動なし）が、13件（全体の32.5%）
×（数値が悪化）が、6件（全体の15%） となりました。

※アンケート指標については、標本誤差を考慮し、基準値から±2.5%の範囲を△の評価としています。

○の評価の指標については関連する現在の取り組みを推し進め、△の評価の指標については関連する取り組みの改善を行い、×の評価の指標については、関連する取り組み自体を見直すなど、この結果を参考によりよい環境活動へとつなげてまいります。

詳細については、6ページ以降の「IV 施策ごとの取り組み状況」をご覧ください。

分野別目標	指標名	評価
①学び広げるまちづくり	環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	○
	ESDユネスコスクール数	△
	環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	×
	環境保全活動等に参加している市民団体数 ※	○
	環境保全分野のボランティアをしている市民の割合 ※	△
	環境に関する情報の発信機会	○
	河川水質調査項目数	○
	環境保全の知識を学んでいる市民の割合	○
②ごみのないまちづくり	市民一人一日あたりのごみ総量	○
	再使用している市民の割合	△
	ごみの発生抑制（リデュース）に取り組んでいる市民の割合	△
	環境事業センターにおけるリユース件数	○
	燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	○
	資源化率	×
	ごみ残置シール貼付数	×
③地域で地球を考えるまちづくり	ごみ収集に関する不具合・事故件数	○
	地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数	○
	省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	○
	市の施設における温室効果ガス排出量	○
	再生可能エネルギーを活用している公共施設数	○
④自然とふれあうまちづくり	環境保全を意識し、行動している市職員の割合	○
	公共緑地面積	○
	民有緑地面積	○
	農業振興地域における農地面積	○
	緑・水辺に親しめる場所があると思う市民割合	△
	新たに生み出された緑の箇所数	×
	自ら緑を育成している市民の割合	△
	水辺空間を利用している市民の割合	△
	水辺空間の満足度	△
	緑地面積	○
⑤暮らしやすい快適なまちづくり	BOD（生物化学的酸素要求量）の主要河川での改善数値	○
	快適な生活衛生環境だと思う市民の割合	△
	下水道普及率	○
	生活衛生環境に関する苦情の解決率	△
	水質を維持しているため池数	○
	生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	△
	秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	△
	都市景観に満足している市民割合	△
	生活衛生環境の向上支援件数	×
	ペット・小動物に関する苦情件数	×

※は、「④自然とふれあうまちづくり」の指標としても活用しています。

2 「みんなの取り組み」によって進んだことがら

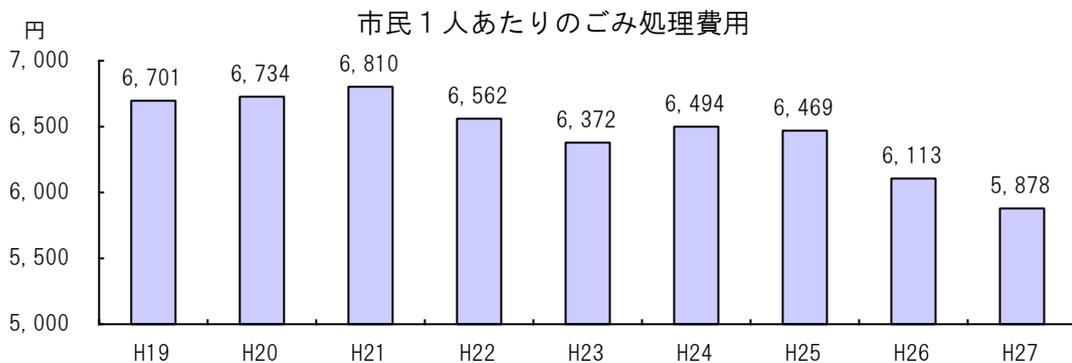
① 学び広げるまちづくり

尾張旭市立旭小学校の5年生の皆さんが、くらしと電気と温暖化をテーマとした「ストップ温暖化教室」の講義、実験を通じて地球温暖化のメカニズムを学びました。



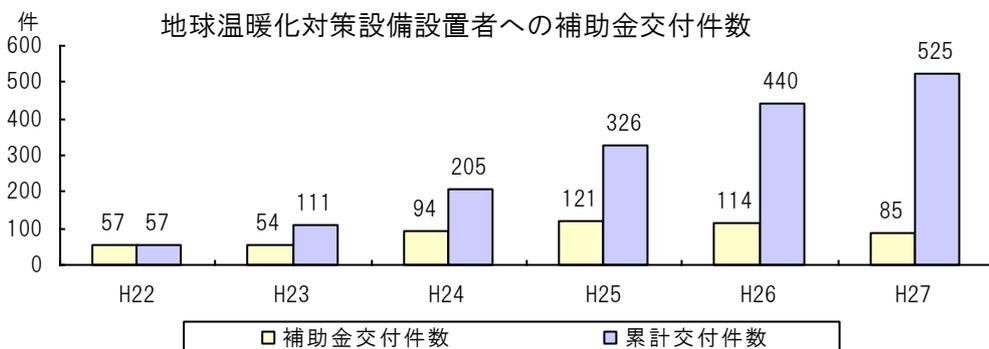
② ごみのないまちづくり

ごみの減量意識や分別意識の高まりによって、市民1人あたりのごみ処理費用は減少傾向にあります。



③ 地域で地球を考えるまちづくり

地球温暖化防止のため、市の補助金を利用して再生可能エネルギーを導入する家庭が増加し、太陽光発電施設だけでも年間889トンの二酸化炭素の削減（スギの木が1年間に吸収するCO₂の量の約63,500本分相当）につながっています。また、平成28年度から家庭用エネルギー管理システム（HEMS）など、太陽光発電施設以外の設備にも補助を行う、地球温暖化対策設備設置費補助金を実施しています。



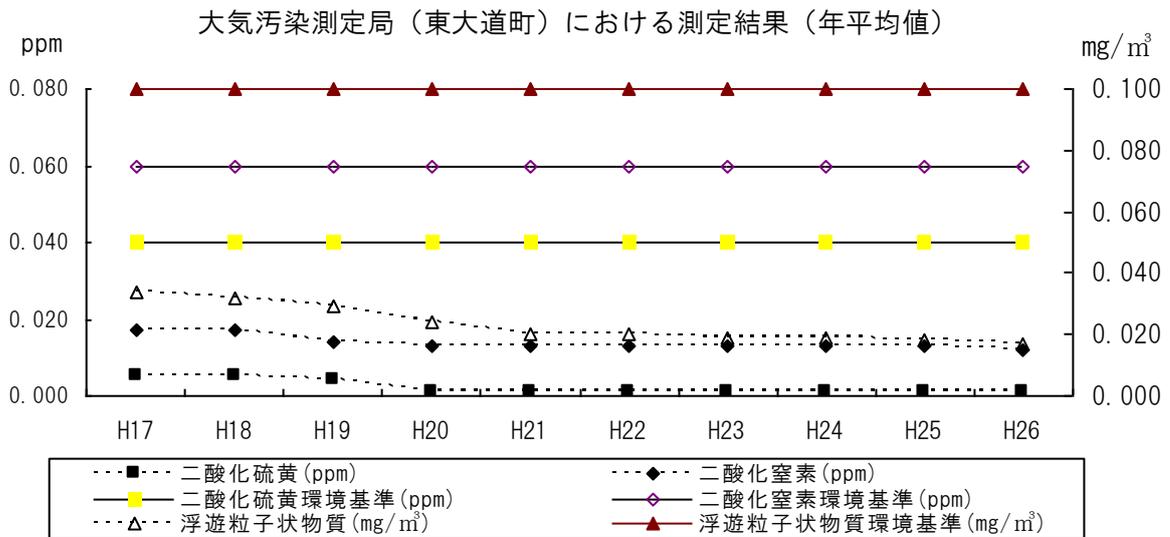
④ 自然とふれあうまちづくり

市北部にある吉賀池湿地の保全のため、期間を限定して一般公開を実施しました。また、平成27年度から新たに中秋の一般公開を増設しました。



⑤ 暮らしやすい快適なまちづくり

市内の大気汚染の状況は、年々減少傾向にあって引き続き環境基準を達成しているとともに、浮遊粒子状物質の測定値は、県内で最も低くなっています。



III 「IV 施策ごとの取り組み状況」の見方

6ページ以降の「IV 施策ごとの取り組み状況」については、次のような形で記載しています。

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

平成26年度と平成27年度の指標の状況を表形式で、近年の移り変わりの状況をグラフで表しています。

なお、2年ごとに実施している「尾張旭市まちづくりアンケート」の結果を指標としている場合や、新規で設定した指標については、アンケート実施年度のものを再掲しています。

[例]

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	12.4%	8.8% (H25データ)	33.4%	17.0%	○

2 主な「みんなの取り組み」の状況

「施策」を実現するための、「みんなの取り組み」の主なものについて、平成27年度の実績と現在の状況を掲載しています。

なお、市民・市民団体による取り組みについては**市民・市民団体**として、事業者による取り組みは**事業者**として掲載し、それぞれ「市民が」、「事業所が」といった形で表示しています。

また、取り組み状況の各ことからの文末に、27年度以降に新たに実施した取り組みは（新）、26年度以前から継続して実施している取り組みは（継）と記載しています。

[例]

	みんなの取り組み内容	平成26・27年度の取り組み状況
市民	緑のカーテンに取り組みます。	市民が、自宅で育成した緑のカーテンの写真を、市主催の「緑のカーテンの写真募集」事業に応募しました。（継）
事業者	地球環境問題に関心を持ち、事業活動における温暖化対策、省エネルギーなどに努めます。	市内事業所が、市の「職員出前講座」を利用し、地球温暖化問題に関する研修会を開催しました。（継）

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

「市の取り組み」のうち、まだ手がつけられていない取り組みや、今後もっと努力や検討が必要な取り組みをピックアップし、今後へとつなげます。

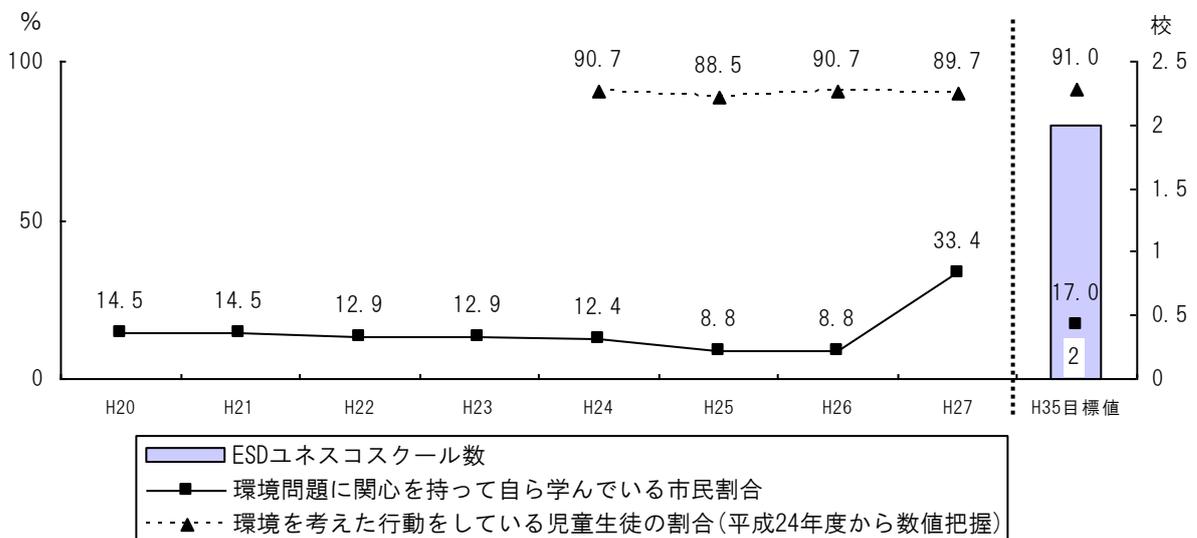
IV 施策ごとの取り組み状況

分野別目標 ① 学び広げるまちづくり

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

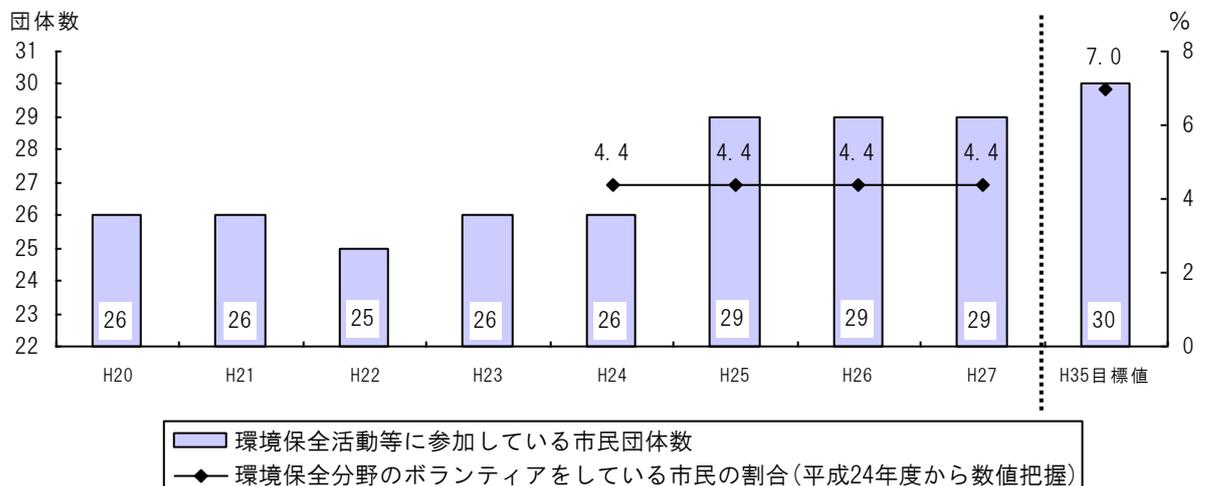
施策1-1 環境教育・環境学習を進める

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
ESDユネスコスクール数	0校	0校	0校	2校	△
環境問題に関心を持って自ら学んでいる市民割合	12.4%	8.8% (H25データ)	33.4%	17.0%	○
環境を考えた行動をしている児童生徒の割合	90.7%	90.7%	89.7%	91.0%	×



施策1-2 環境保全活動を進める

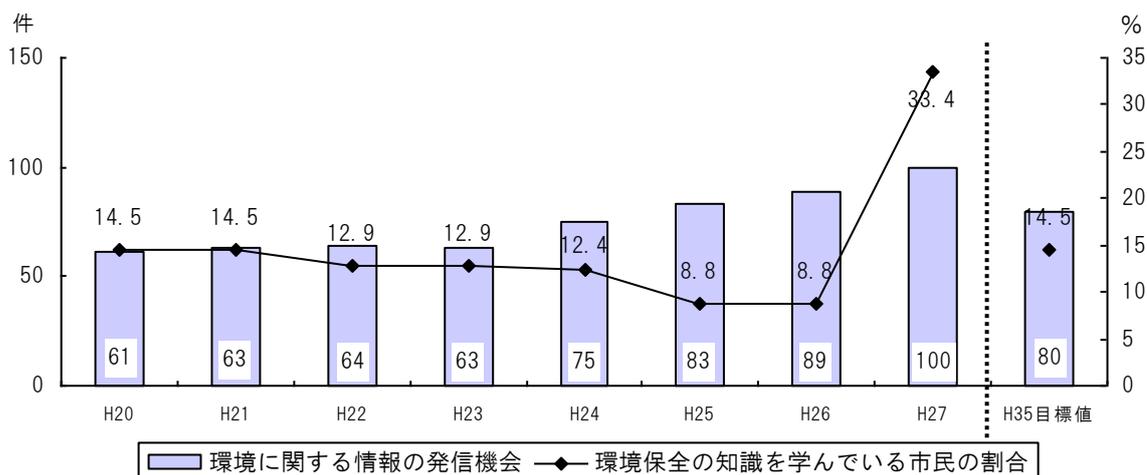
指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
環境保全活動等に参加している市民団体数	26団体	29団体	29団体	30団体	○
環境保全分野のボランティアをしている市民の割合	4.4%	4.4% (H24データ)	4.4%	7.0%	△



施策1-3 環境情報を収集、提供・活用する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
環境に関する情報の発信機会	75件	89件	100件	80件	○
環境保全の知識を学んでいる市民の割合	12.4%	8.8% (H25データ)	33.4%	14.5%	○
河川水質調査項目数*	9件 (H27)	22件	9件	9件 (H27修正)	○

* 尾張東部環境保全連絡協議会における河川水質調査内容の見直しに伴い基準値及び長期目標を修正



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①プログラムの充実

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
環境教育・環境学習に関する情報提供・啓発に努めます。	市広報やホームページ、チラシの配布などを通じて環境教育・環境学習に関する情報を提供しました。(継)
学校における環境教育を積極的に推進するとともに、子どもたちが自然とふれあう機会の充実に努めます。	天神川の水質調査を実施し、川の役割や水質を浄化するための方策などの検討を行いました。(新)
市民団体 行政や市民団体の行う環境教育・環境学習への積極的な参加に努めます。	市民団体が、環境に関する市の出前講座を利用し、地球温暖化防止に関する研修会を開催しました。(継)
事業者 事業所内で環境に関する研修会などを開催し、従業員に対する環境教育・環境学習の推進に努めます。	市内事業所が、環境に関する市の出前講座を利用し、地球温暖化防止に関する研修会を開催しました。(継)

②総合的・体系的に推進する体制づくり

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
環境教育・環境学習を総合的・体系的に推進する体制の整備に努めます。	環境教育や環境学習を実施している団体や関連部署と連携し、それぞれが実施する環境学習講座を掲載した案内チラシを四半期に一度発行しました。(新)
ユネスコスクールへの加盟を申請し、子どもたちがESDの視点から議論したり、世界に向けて発信したりする機会を設けることを検討します。	市内2か所の小学校がユネスコスクールへの加盟を申請しました。また、そのうちの1校が、平成28年10月16日に中部大学より、取り組み状況に関する視察を受けました。(新)
学校内のビオトープを活用した水生生物調査のほか、大気や水の調査など、学校ごとに特色のある取り組みの実施に努めます。	旭小学校が、愛知県の事業を活用した「ストップ温暖化教室」を実施しました。(新)
市民団体 市民団体は、地域における環境教育・環境学習に協力するよう努めます。	市民団体が、渋川小学校の児童による天神川の水質調査の際に、講師を派遣しました。(新)

③活動に対する支援

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
活動に必要な資材の提供、講師の派遣など、活動団体の支援に努めます。	市民活動支援センター登録の市民団体が会議室や印刷機器を利用できるようにしました。(継)
地域における環境保全活動を推進する人材や団体の育成を図るとともに、環境保全活動に関する表彰や活動支援を行います。	長年にわたる道路・河川の清掃活動に係る功績を讃えるため、『「道路ふれあい月間」における道路愛護団体等の国土交通大臣表彰』に市民団体を推薦し、受賞されました。(新)
活動状況の情報交換を行うことができる場の提供に努めます。	市民活動支援センター登録の市民団体が情報交換を行うことのできる連絡協議会を設置しました。(継)
市民 事業者や市が開催する環境関連イベントに積極的に参加します。	市民が、市と校区社会福祉推進協議会主催の「まち美化大作戦」に参加し、市内の一斉清掃を行いました。(継)
事業者 地域の環境保全活動や環境関連イベント等に積極的に参加・協力します。	市内事業所の社員等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。(継)

④活動への参加促進

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
活動団体の環境保全に関する情報を収集・整理し、市民への提供・啓発に努めます。	市民団体が発行する資料やチラシを、公共施設で掲示又は配布しました。(継)
環境保全活動への参加を促進します。	市民活動支援センター登録の市民団体や、その開催行事の周知を行いました。また、市民団体による河川清掃活動の実施にあたり、後援を行いました。(継)
事業者 事業所内や事業において環境に配慮した取り組みを広く紹介します。	市内のスーパーが、小学生を対象に環境教室を開催し、自社の環境への取り組みを紹介しました。(継)

⑤収集・分析

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
社会経済情勢を踏まえながら、環境を取り巻く情報や、自然資源の分布等を客観的・定量的に把握します。	平成28年5月に閣議決定された地球温暖化対策計画の温室効果ガス削減目標を踏まえ、対応措置の必要性を市職員研修などで説明しました。(継)
河川の水質調査や工場の排水調査を継続的に実施し、水質汚濁状況を把握します。	市内の河川の4か所で水質調査を年5回実施するとともに、2か所の工場排水調査を行いました。(継)
市民 家庭版環境ISOに取り組み、家庭でのエネルギー使用量等の把握に努めます。	市民が、家庭版環境ISO事業や、その簡易版であるCO ₂ CO ₂ (コツコツ)ダイエットプラン事業に参加しました。(継)

⑥発信・活用

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
環境情報を積極的に発信し、市民の意識高揚につなげます。	本市の環境関連情報を愛知県の情報掲示板(エコリンクあいち)を通じて発信しました。(新)



②総合的・体系的に推進する体制づくり
～市民団体による小学校での水質調査講座



④活動への参加促進
～市内スーパーでの環境教室

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

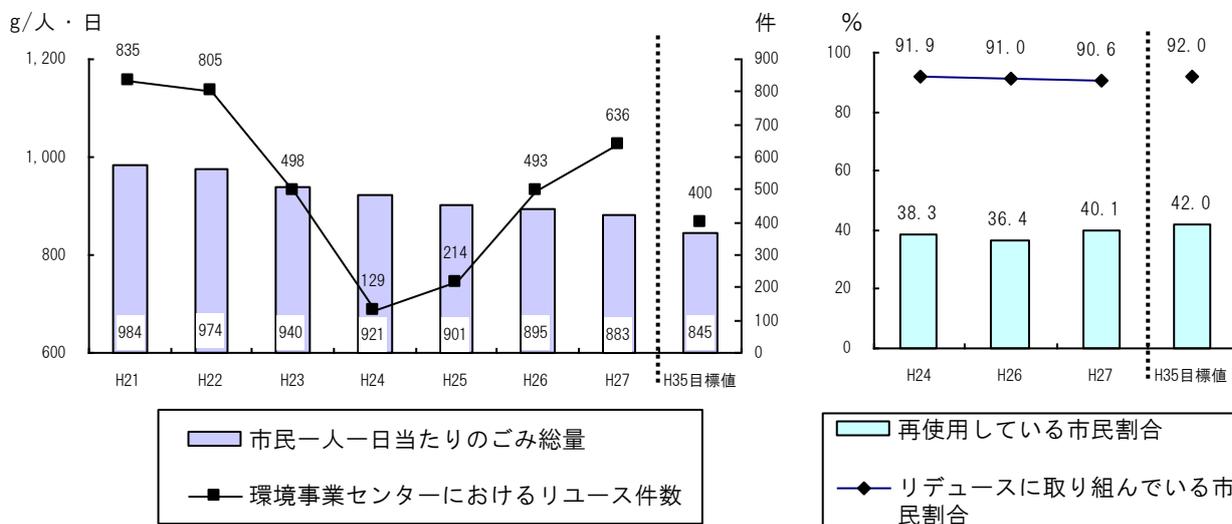
みんなの取り組み区分	内容
①プログラムの充実	高校生以上の年齢層を対象とした環境学習機会の提供
②総合的・体系的に推進する体制づくり	幅広い年齢層のかたが環境学習に参加したくなるような情報提供・啓発方法の検討
③活動に対する支援	活動状況の情報交換機会の創出
④活動への参加促進	活動へ参加募集方法の検討
⑥発信・活用	環境に関する無関心層への啓発方法の検討

分野別目標 ②	ごみのないまちづくり
---------	------------

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

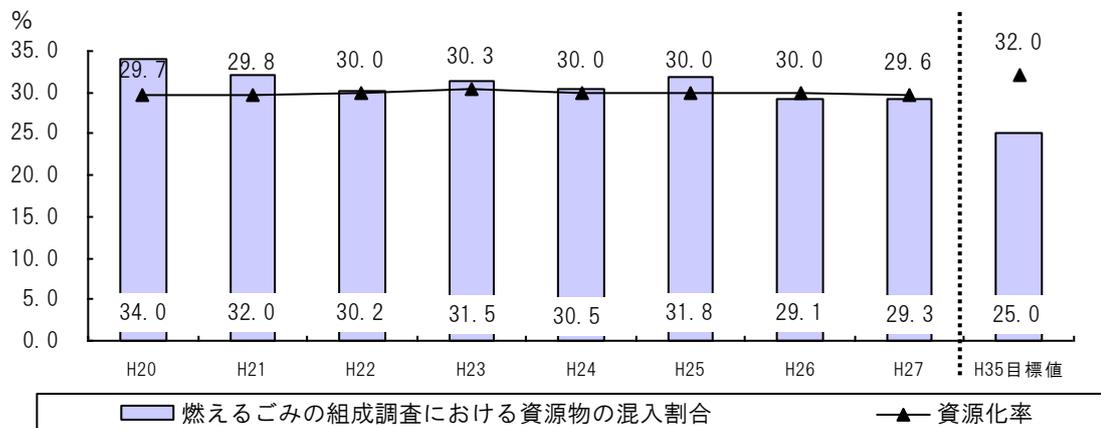
施策2-1 ごみを減らす

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
市民一人一日あたりのごみ総量	921 g/人・日	895 g/人・日	883 g/人・日	845 g/人・日	○
環境事業センターにおけるリユース件数	129件	493件	636件	400件	○
再使用している市民の割合	38.3%	36.4% (H25データ)	40.1%	42.0%	△
ごみの発生抑制（リデュース）に取り組んでいる市民の割合	91.9%	91.0% (H25データ)	90.6%	92.0%	△



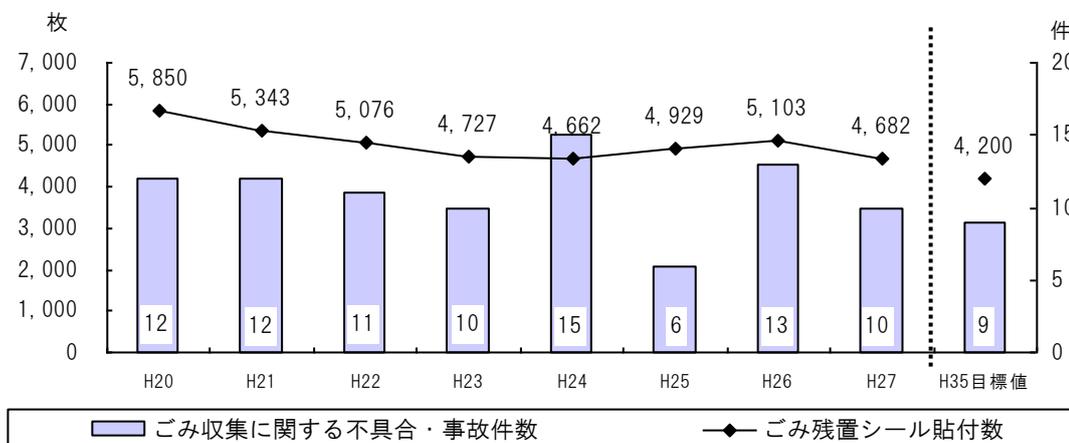
施策2-2 ごみを生かす

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
燃えるごみの組成調査における資源物の混入割合	30.5%	29.1%	29.3%	25.0%	○
資源化率	30.0%	30.0%	29.6%	32.0%	×



施策2-3 ごみを適正に処理する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
ごみ収集に関する不具合・事故件数	15件	13件	10件	9件	○
ごみ残置シール貼付数	4,662枚	5,103枚	4,682枚	4,200枚	×



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①ごみを出さない意識づくり

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
燃えるごみの排出量に応じた費用負担を検討します。	市民と組織する「ごみ有料化プロジェクト」で、有料化制度について、先進地視察などにより調査・研究を行いました。(継)
再使用を推進するためリサイクル広場の再利用品広場を拡充します。	市民と組織する「リサイクル広場拡充プロジェクト」で、拡充の内容について、調査・検討しました。(継)
子ども用品の譲渡及び譲受けの場を拡大します。	健康フェスタにおいて、リサイクル広場での子ども用品引取・提供事業の啓発及びチラシの配布を行いました。(新)
ごみ減量と資源化を啓発するプロジェクトを進めます。	循環型社会推進会議の3つのプロジェクトでごみ減量と資源化の啓発について検討しました。(継)

ごみの減量を取り入れたエコライフを進めます。	雑がみ分別袋や生ごみ水切り袋を活用し、家庭でのごみ減量の取り組みを紹介しました。(新)
レジ袋削減運動を更に展開します。	マイバッグ持参運動に賛同する市内スーパー、ドラッグストア等と協力し、レジ袋の有料配布を実施しました。また、市内3店舗を優良店として認定しました。(新)
事業者 買い物袋持参運動の推進などにより、レジ袋の削減に努めます。	市内事業者が、新たにレジ袋無料配布中止協力店舗に参加しました。(新)

②わかりやすい情報提供

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
ごみに関する情報をわかりやすく市民に提供します。	ごみ出しアプリを導入し、スマートフォンなどから簡単にごみの分別や収集日を検索できるようにしました。(新)
再使用(リユース)に関する情報を発信します。	リサイクル広場での子ども用品引取・提供事業を啓発するため、健康フェスタでチラシを配布しました。(新)
小・中学生に対してごみに関する学習の機会を提供します。	夏休みに小学生の親子を対象にリサイクル教室を実施しました。また、小学4年生を対象にごみ処理の啓発冊子を配布するとともに、環境美化意識の啓発のためポスター、標語を募集し、掲示しました。(継)
ごみに関する学習拠点を発展させます。	リサイクル広場で生ごみを堆肥化した肥料を使用した緑のカーテンを実施し、市民に循環型の緑のカーテンづくりを啓発しました。(新)
保育園での生ごみを使った堆肥化の取り組みを進めます。	市内保育園8園の給食調理くず、食べ残しの堆肥化事業、堆肥を使った菜園・食育支援を行いました。(継)
市民 ごみ処理施設の見学会に参加します。	市民が、親子リサイクル教室に参加し、リサイクル広場と晴丘センター、関連企業を見学しました。(継)

③事業系ごみ減量対策

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
事業系ごみの実態を把握するため事業者アンケートを実施します。	「事業系ごみ適正化プロジェクト」で、事業系ごみの排出実態を把握するため、アンケートの調査方法、内容を検討しました。(新)
事業系ごみの実態を把握するため調査を実施します。	ごみ組成調査や市民からの情報により、事業所から排出されるごみの実態の把握に努めました。(継)
市民祭等のイベントから出るごみの減量と資源化を進めます。	市民祭でごみステーションを設置し、分別収集と市民への分別ルールの周知を行いました。(継)
放置自転車の再使用を進めます。	関連部署と連携し、市に帰属した放置自転車をリサイクル広場でリユース品として提供しました。(継)
市民 自転車(リユース品)を利用します。	市民が、リサイクル広場で提供された自転車を利用しました。(継)

④新たな資源化

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
剪定枝、木製品の再生利用を進めます。	市内造園業者や公共施設から排出される剪定枝等を木質チップにするよう、資源化の徹底を依頼しました。(継)
小型家電の分別回収を進めます。	試行したリサイクルステーションで小型家電の回収箱を設け、市民の利便性の向上を図りました。(新)
生ごみ堆肥化のシステムを作ります。	生ごみ資源化協力隊、循環型社会研究会に委託し、モニター制度などにより生ごみの堆肥化の普及啓発を行いました。(継)
市民 生ごみ処理機の活用や生ごみの堆肥化に努めます。	市民が、生ごみ処理機等購入費補助制度を活用し、生ごみの堆肥化を進めました。(継)

⑤仕組みづくりによる資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
食品トレイ・ペットボトルキャップ・インクカートリッジ等の民間が行っている分別を市の分別ルールに組み入れます。	市内民間店舗で回収している資源の種類をホームページに掲載し、市民に情報提供しました。(継)
公共施設に設置されている資源物拠点回収所の設置条件を統一します。	公共施設に設置されている資源物の回収状況の把握に努めました。(継)

市民にとって便利なりサイクルステーションを設置します。	民間店舗駐車場でリサイクルステーションを6カ月間試行し、その結果や問題点について検討しました。(新)
分別が不十分なごみは取り残し措置を行い、必要に応じて開封調査・指導を行います。	分別ルールが守られていないごみは、警告シールを貼付し取り残しました。また、事業系ごみが出されていた場合、直接指導を行いました。(継)
家庭における生ごみの減量や堆肥化を進めます。	生ごみ資源化協力隊、循環型社会研究会に委託し、モニター制度などにより生ごみの堆肥化の普及啓発を行いました。また、市民を対象に生ごみの堆肥化講習会を実施しました。(継)
ふれあい農園における堆肥化を進めます。	ふれあい農園利用者にコンポストモニター制度の啓発を行いました。(継)
市民 生ごみ処理機の活用や生ごみの堆肥化に努めます。	市民が、生ごみの堆肥化に関する市民団体開催の講習会や出前講座に参加しました。(継)

⑥地域力を生かした資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
ごみの減量と資源化を自治会等の各種団体と共に積極的に進めます。	旭丘校区の市民委員が実施したエコフェスに市が共催し、各種イベントを通じ、3R啓発を行いました。(新)
資源ごみ回収団体活動奨励金制度の実効性を高めます。	他自治体の資源ごみ回収に関する奨励金制度を調査しました。(継)

⑦事業者による資源化の推進

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
事業者が排出する剪定木の資源化を進めます。	造園業者等に剪定木の資源化の徹底を依頼しました。また、市の業務を行う事業者については、仕様書等で剪定木の資源化を指示しました。(継)
買った店に使い終えた容器を戻す仕組みを広げます。	市内スーパー等に使用済み容器を自主回収するよう依頼しました。また、市内民間店舗で回収している資源の種類調査結果を市ホームページに掲載し、市民に情報提供しました。(継)
学校給食における食品残渣等の資源化と教育への活用について検討します。	給食センターの施設見学や、食育に関するパネルの掲示などを行いました。(継)
事業者 剪定枝の資源化に努めます。	市内造園業者等が、剪定枝の資源化に協力しました。(継)

⑧安全に処理するための分別

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
スプレー缶、カセットボンベ、ライターを危険ごみとして分別回収します。	スプレー缶、カセットボンベの分別回収方法を検討し、平成28年10月からスプレー缶、カセットボンベを「スプレー缶類」として分別収集を開始しました。(新)
消火器、バッテリー、プロパンボンベ等を販売店で適正処理するよう呼び掛けます。	消火器の処分方法をホームページに掲載し、適正処理に関する啓発を行いました。(継)

⑨効率的な収集と処理

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
地域と連携し、ごみ集積所の配置や管理のあり方を検討します。	利用者や地域の町内会と連携し、ごみ集積所に関する問題を一緒に解決しました。(継)
プラスチックごみの処理のあり方について検討します。	プラスチック製容器包装のリサイクル制度に関し、事業者の費用負担の拡大とリサイクル方法に応じた分別基準を定めることについて、国に要望しました。(継)
コスト分析の標準的手法である「一般廃棄物会計基準」を導入します。	ごみ処理費用を検証し、広報で市民に周知しました。(継)
効率的なごみの収集運搬体制を整えます。	市民の利便性と資源化の向上を目的に、平成27年10月から市内一部地域でプラスチック容器包装の毎週収集を試行し、平成28年7月から、市内全域で毎週収集を開始しました。(新)

⑩ 仕組みづくり

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
あさひ訪問収集を地域と連携した制度へ拡充します。	あさひ訪問収集連絡会議を設置し、他課やケアマネージャーと連携を図り、必要な方に利用してもらえるよう啓発しました。(継) また、全戸配布チラシ「ごみの出し方」に記事を掲載し、周知を図りました。(新)

⑪ 適正処理

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
公共事業や市役所等の公共施設から出るごみを適正に処理します。	公共施設のごみ処理の適正化に向けて、各施設のごみの排出方法の実態と排出量を調査し、平成28年9月から、公共施設のごみを「事業系ごみ」として処理するように変更しました。(新)



② わかりやすい情報提供
～平成28年9月から導入したごみ出しアプリ



⑥ 地域力を生かした資源化の推進
～旭丘校区で実施されたエコフェス

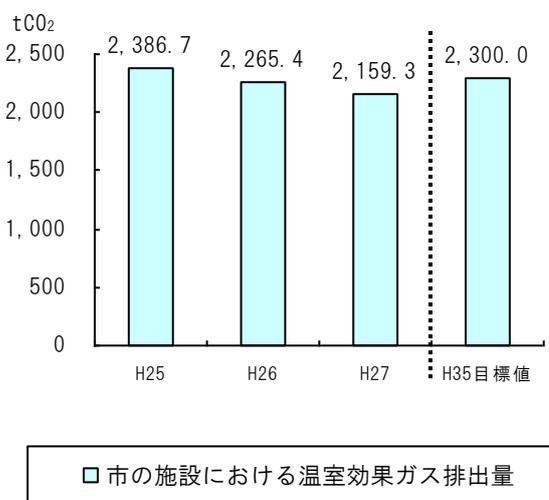
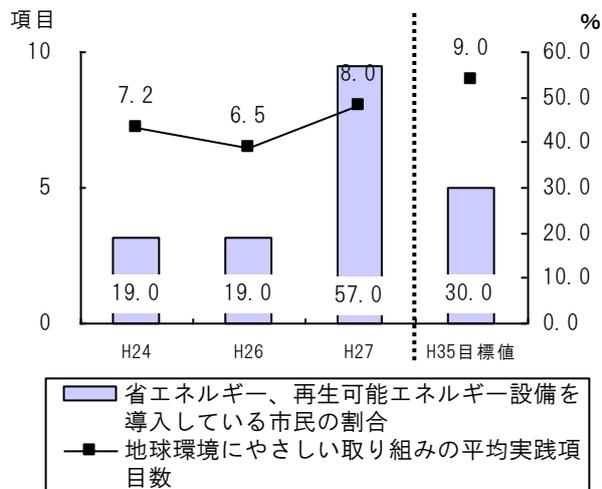
3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことから

みんなの取り組み区分	内容
① ごみを出さない意識づくり	燃えるごみの排出量に応じた費用負担の検討
② わかりやすい情報提供	ごみに関する学習拠点の発展
③ 事業系ごみ減量対策	商工会等と連携した事業系ごみの処理に関する啓発
④ 新たな資源化	小型家電の新たな分別回収方法
⑤ 仕組みづくりによる資源化の推進	燃えるごみの分別啓発を目的とした戸別収集制度の検討
⑥ 地域力を生かした資源化の推進	自治会等との連携による生ごみ堆肥化のモデル事業
⑦ 事業者による資源化の推進	買った店に使い終えた容器を戻す仕組みの拡大
⑧ 安全に処理するための分別	スプレー缶、カセットボンベの分別回収の周知
⑨ 効率的な収集と処理	「一般廃棄物会計基準」の導入
⑩ 仕組みづくり	ごみ相談窓口の効率化
⑪ 適正処理	空き缶等の投げ捨てや屋外焼却行為への厳格対応

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

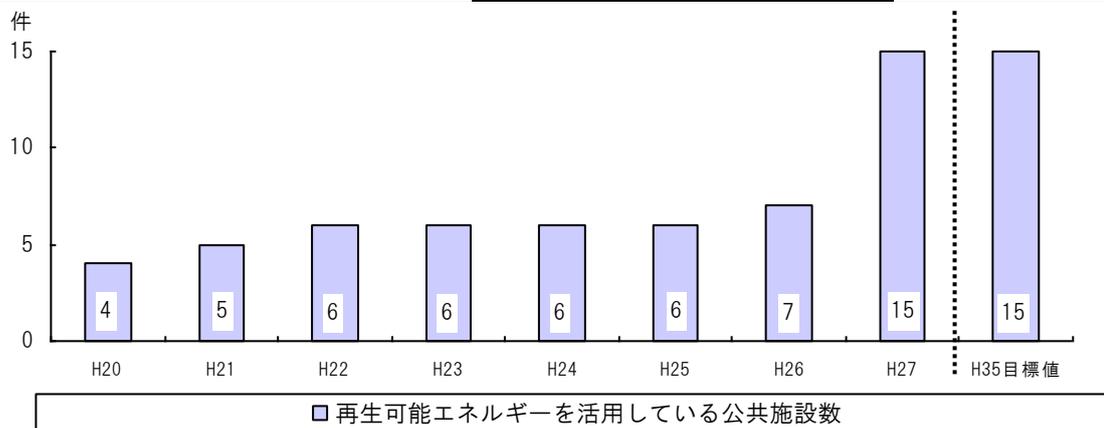
施策3-1 二酸化炭素 (CO₂) 排出量を削減する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合	19.0%	19.0% (H24データ)	57.0%	30.0%	○
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数	7.2項目	6.5項目 (H25データ)	8.0項目	9.0項目	○
市の施設における温室効果ガス排出量	2,386.7t-CO ₂	2,265.4t-CO ₂	2,159.3t-CO ₂	2,300t-CO ₂	○



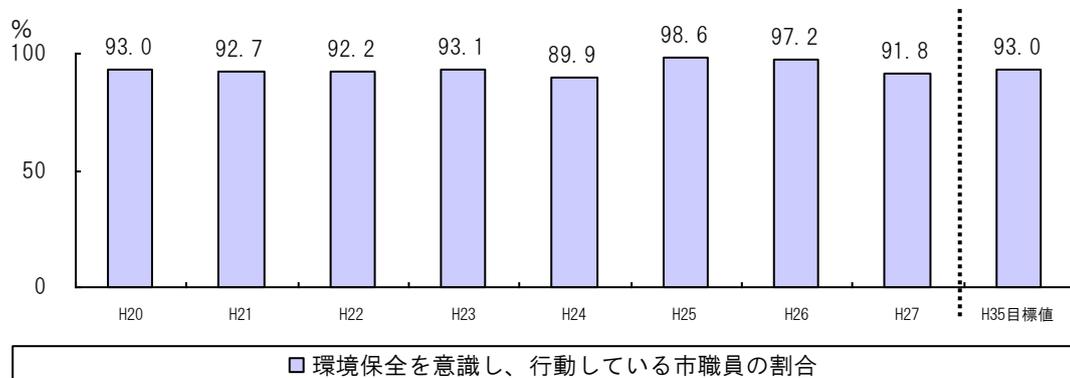
施策3-2 再生可能エネルギーを利用する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
再生可能エネルギーを活用している公共施設数	6件	7件	15件	15件	○
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数 再掲	7.2項目	6.5項目 (H25データ)	8.0項目	9.0項目	○
省エネルギー、再生可能エネルギー設備を導入している市民の割合 再掲	19.0%	19.0% (H24データ)	57.0%	30.0%	○



施策3-3 地球規模の環境問題に取り組む

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
環境保全を意識し、行動している市職員の割合	89.9%	97.2%	91.8%	93.0%	○
地球環境にやさしい取り組みの平均実践項目数 <small>再掲</small>	7.2項目	6.5項目 (H25データ)	8.0項目	9.0項目	○



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①省エネルギー化の推進

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
温暖化対策や省エネルギー対策に関する情報提供・啓発に努めます。	地元FMラジオやケーブルテレビの番組に出演し、温暖化対策に関する情報を発信しました。(新)
市内全ての公共施設で緑のカーテン事業を実施します。	公民館、保育園、小学校などの全ての公共施設で、緑のカーテン事業を行いました。(継)
住宅用エネルギー管理システム(HEMS)により、太陽光発電の発電量や機器ごとの電力使用量等を「見える化」し、蓄電池や電気自動車への充放電など、電力の効率的な利用を可能とするスマートハウスの普及に努めます。	平成28年度から、HEMS、家庭用燃料電池システム(エネファーム)、定置用リチウムイオン蓄電システム、電気自動車等充電設備の設置費の補助を開始しました。(新)

②自動車による環境負荷の削減

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
公共交通網の充実に努めます。	市営バスに係る運行方法の検討を行い、ルートを見直し、日祝日の運行や平日の本数を増加しました。(新)
駅・駅周辺施設を充実させ、公共交通の利用を促進します。	旭前駅のバリアフリー化や公衆トイレの設置に向け鉄道事業者と協議を進めました。また、三郷駅の駅前広場を含めた駅周辺の整備に向けた取り組みを地域住民の方々と行いました。(継)
幹線道路交通の円滑化に努めます。	都市計画道路霞ヶ丘線の用地買収を進めました。(継)
次世代自動車等エコカーの導入と、関連設備の整備を促進します。	市役所駐車場内に電気自動車やプラグインハイブリット専用の充電スタンドを設置し、来庁者に無料で提供しました。(継)
市民 車を仕様する際は、エコドライブを心がけます。	市民が、あさひ健康フェスタにて、エコドライブシミュレーターを利用しエコドライブ診断を実施しました。(新)
事業者 ノーカーデー運動を市民、市と協力して進めます。	事業者が、毎月第1水曜日を「ノーカーデー・「エコモビの日」とし、職員に省エネルギー活動を呼びかけました。(継)

③その他 【施策3-1】

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
各家庭や事業所へのゴーヤの苗の配布事業を継続します。	ゴーヤの苗を配布し、これを使って約3,400人の市民が自宅で緑のカーテンを育成しました。(継)
市民 緑のカーテンに取り組めます。	市民が、自宅で育成した緑のカーテンを撮影し、市主催の「緑のカーテンの写真募集」事業に応募しました。(継)

事業者 地球環境問題に関心を持ち、事業活動における温暖化対策、省エネルギーなどに努めます。	市内事業所が、市の「職員出前講座」を利用し、地球温暖化問題に関する研修会を開催しました。(継) また、打ち水に関するPR活動を実施しました。(新)
--	---

⑤再生可能エネルギーの普及、導入促進

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
環境省の「再生可能エネルギー等導入推進事業」を活用して、公共施設への太陽光発電設備の設置を進めます。	環境省の事業を活用して、防災拠点である市消防本部に、太陽光発電設備と蓄電池を設置しました。(新)
公共施設の屋根を貸し出し、太陽光発電設備を設置する事業の導入を進めます。	10か所の公共施設の屋根を民間事業者へ貸し出し、太陽光発電を行う事業を実施しました。(新)

⑥水循環

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
雨水利用や節水など、水の有効利用を普及啓発します。	水道週間等に水源地見学を開催し、水の有効利用に関する啓発を行いました。(継)
雨水を地下浸透させる透水性舗装の整備を促進します。	民間による宅地開発の際に、事業地内で舗装が計画されている場合は、下流の排水路等の負担を少なくするため、事業者に対して雨水を地下浸透させる透水性舗装の整備を促し、既存市街地地区の良好な居住環境の保全と形成に努めました。また、三郷町、南栄町において、透水性舗装の整備をしました。(継)

⑦オゾン層保護

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
オゾン層の保護など、地球規模の環境問題に対する意識啓発を推進します。	市内公共施設における、フロン発生施設の保有量及び漏えい量を把握するため調査をしました。(新)

⑧その他 【施策3-3】

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
市民 地球環境問題に関する情報を収集し、正しい知識を身につけます。	市民が、市主催の各種環境講座に参加して、関連する知識や理解を深めました。(継)



②自動車による環境負荷低減
～平成28年度から新たに導入したあさぴ一号

⑤再生可能エネルギーの普及・導入促進
～市役所庁舎に設置した太陽光発電設備

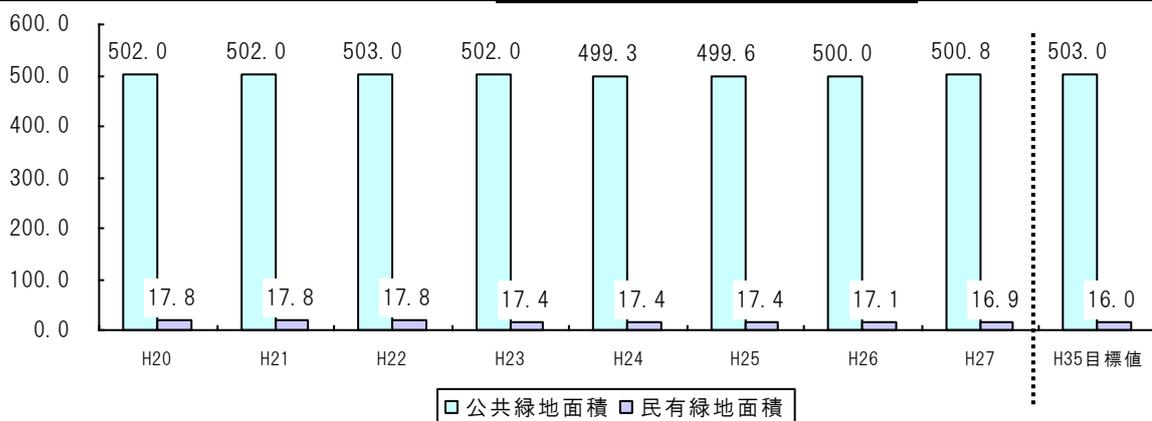
3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

みんなの取り組み区分	内容
①省エネルギー化の推進	企業における省エネルギーを推進する人材の育成支援
②自動車による環境負荷の削減	エコドライブの実施促進
③その他	温室効果ガスの排出削減のための計画的な施策の実施
④調査・研究の実施	エネルギーの地産地消に係る理解促進
⑤再生可能エネルギーの普及、導入促進	太陽光発電など、自然エネルギーの利用促進
⑥水循環	雨水浸透ますの導入促進
⑦オゾン層保護	フロン回収に係る啓発の実施
⑧その他	環境マネジメントシステムの構築支援

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

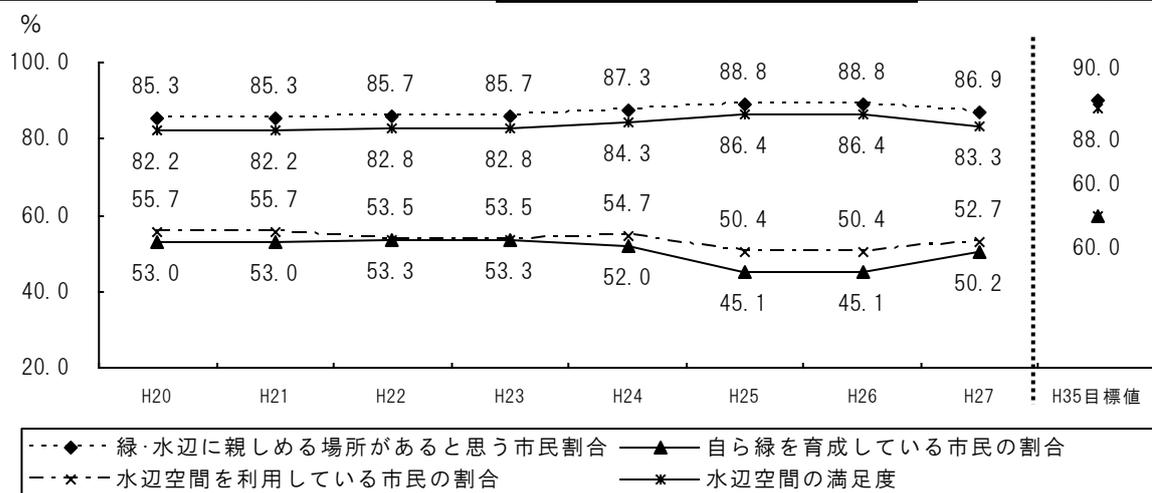
施策4-1 緑と水辺を守りつなげる

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
公共緑地面積	499.3ha	500.0ha	500.8ha	503.0ha	○
民有緑地面積	17.4ha	17.1ha	16.9ha	16.0ha	○
農業振興地域における農地面積 ha	110ha	110ha (H24データ)	110ha (H24データ)	104ha	○



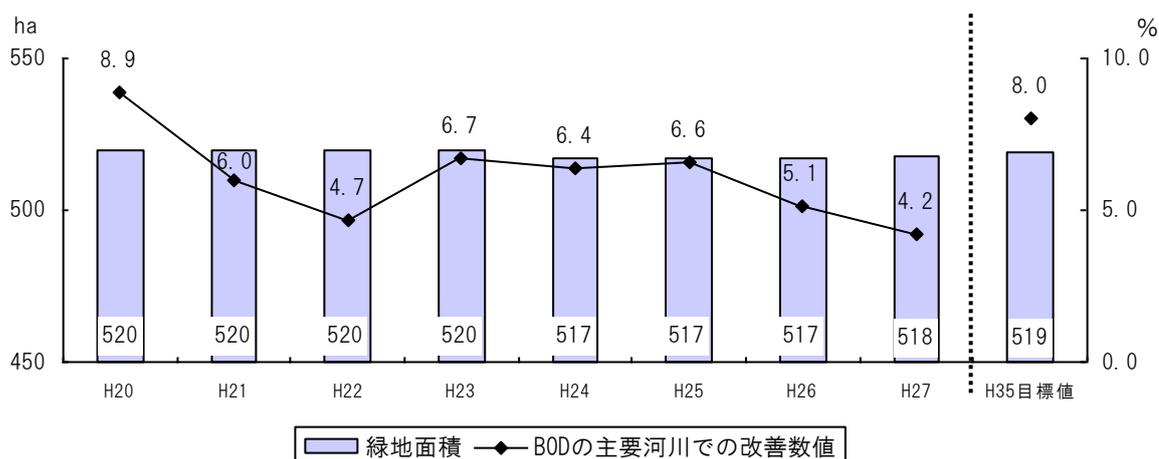
施策4-2 緑と水辺を育みふれあう

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
緑・水辺に親しめる場所があると思う市民割合	87.3%	88.8% (H25データ)	86.9%	90.0%	△
自ら緑を育成している市民の割合	52.0%	45.1% (H25データ)	50.2%	60.0%	△
水辺空間を利用している市民の割合	54.7%	50.4% (H25データ)	52.7%	60.0%	△
水辺空間の満足度	84.3%	86.4% (H25データ)	83.3%	88.0%	△
新たに生み出された緑の箇所数	10箇所	6箇所	7箇所	10箇所	×



施策4-3 動植物に配慮する

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
緑地面積	517ha	517ha	518ha	519ha	○
BODの主要河川での改善数値	6.4mg/リットル	5.1mg/リットル	4.2mg/リットル	8.0mg/リットル 以下	○
環境保全活動等に参加している市民団体数 <small>再掲</small>	26団体	29団体	29団体	30団体	○
環境保全分野のボランティアをしている市民の割合 <small>再掲</small>	4.4%	4.4% (H24データ)	4.4%	7.0%	△



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①緑地・樹木の保全

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
計画的な土地利用を推進し、緑地等の確保に努めます。	民間による宅地開発の際には、事業者に対して地域に配慮した緑地を配置するよう促し、既存市街地地区の良好な居住環境の保全と形成に努めました。(継)
緑地や保存樹等の保全に努めます。	保存樹として指定されている樹木の管理者に助成金を支給しました。(継)
市民参加による自然保護活動を促進します。	市民団体が主催する自然保護活動をPRし、市民の参加を促しました。(継)
市民 市民参加による自然環境調査や観察会、保護活動に積極的に参加協力します。	市民団体による自然観察会が行われ、緑地保全への理解を深めました。(継)

②農地の保全

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
景観形成作物の栽培、市民農園としての利用など、遊休農地の活用に努めます。	城前町の休耕田を利用し、景観形成作物のコスモスを栽培しました。(継)
担い手農家への集積や営農組織による活用など、効率的な営農を支援します。	担い手農家が集まった組織の法人化の支援をしました。(新)
環境保全型農業で生産された農産物の特産品化を進めます。	特産品の「朝採り完熟いちじく」を、講座の実施、学校給食などで活用しました。また、販売は尾張旭市内だけでなく、名古屋市の店舗でも実施しました。(継)
耕作放棄地解消のための経費や、景観形成作物の栽培経費を補助します。	景観形成作物として、コスモスの栽培を実施しており、その経費に対し補助を行いました。(継)
市民に農業を身近に感じてもらうため「田んぼアート」や「田んぼイルミネーション事業」を実施します。	城前町の田んぼで「田んぼアート」、「田んぼイルミネーション」を実施しました。(継)
市民 地元の農産物を優先的に購入します。	市民が、「朝採り完熟いちじく」のジャム作り講座に参加し、特産品への理解を深めました。また、市役所ロビーなどで特産品PRを行いました。(継)

市民 農業体験を通して農業への理解を深めます。	市民が、「親子で学ぶ農業塾」や「尾張旭市農学校」、「田んぼアート」、「田んぼイルミネーション」等の事業に参加し、農業への理解を深めました。(継)
事業者 農村と都市間の交流体験の場を提供し、地域の農業をPRします。	市内事業者が、農業まつりで阿智村コーナーを開設したほか、設楽町や南知多町の事業者が物産販売を行いました。(継)

③水辺の保全

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
生態系に配慮しつつ、親水公園化や遊歩道の設置に努めます。	矢田川河川敷の散歩道の整備を行いました。(継)
市民や事業者などの協力を得て、水辺とのふれあいの場の確保・整備に努めます。	長池で池こねイベントを実施しました。(新)
ため池が安全で豊かな自然とふれあえる憩いの場となるよう、多面的な機能を考慮しながら、必要最小限の整備を進めます。	濁池親水施設整備工事を進めました。(継)
市民 河川やため池の整備活動に参加・協力します。	市民が、「長池池こねイベント」に参加し、ため池の整備に協力しました。(新)
市民団体 河川やため池の整備活動に参加・協力します。	市民団体が、多面的機能支払交付金を活用し、主体となって該当地区を管理及び整備しました。(新)
事業者 市民団体の活動や地域の保護活動に積極的に参加します。	市内事業所の社員等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。(継)

④ふれあいの機会の充実

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
市民や事業者等の協力を得て、休耕田や里山、学校、公園などを利用した自然とのふれあいの機会確保に努めます。	市民団体が開催した山辺の散歩道の自然観察会を支援しました。(継)
市民団体 自然と積極的にふれあい、自然の大切さを学びます。	市民団体が、山辺の散歩道の自然観察会を開催しました。(継)

⑤まちの緑化

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
家庭や事業所の緑化を促進します。	ちびっ子ヒマワリの種を、市内施設及び各小学校に配布しました。(継)
民有地緑化を進めるため、生垣の新設、ブロック塀等から生垣への転用や住宅取得者の記念樹の植樹に対して助成を行います。	平成27年度は1件の生垣設置の助成を行い、142件の住宅取得記念樹の助成を行いました。(継)
市民 ガーデニングや生垣設置など、家の周囲に緑を増やします。	多くの市民が、住宅取得記念樹助成事業や各種啓発用の花の種を活用し、自宅の緑化を進めました。(継)

⑥生物多様性の保全

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
動植物の生息・生育環境の保全や希少種の適切な保護に努めます。	吉賀池湿地に生育する希少生物の保全に努めました。(継)
貴重な湿地植物が生育する吉賀池湿地の保全に取り組みます。	吉賀池湿地の保全のため、一般公開を期間を限定して実施しました。また、ボランティアの育成に努めました。(継)
吉賀池湿地の一般公開を開催し、自然環境保全意識の高揚につなげていきます。	平成27年度から新たに中秋の吉賀池一般公開を増設しました。(新)
市民 野生動植物の生息・生育場所の保全に協力します。	市民が、吉賀池湿地のボランティアとして、保全活動や一般公開事務を行いました。(継)

⑦生態系ネットワークの形成

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
東部丘陵生態系ネットワーク協議会の取り組みを推進します。	東部丘陵生態系ネットワーク協議会に参加し、大学との共同研究を進めました。(継)

⑧外来種対策

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
外来生物の駆除により生態系の保全に取り組みます。	アライグマ等特定外来生物の駆除を進めました。(継)



②農地の保全
～田んぼアート



③水辺の保全
～平成28年度に実施された矢田川一斉クリーン大作戦

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

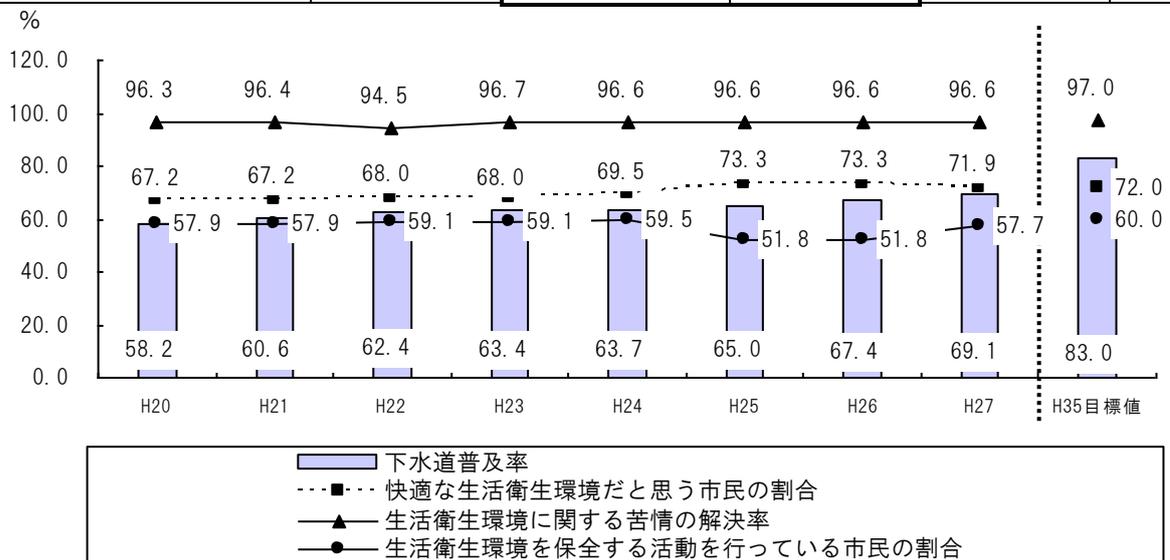
みんなの取り組み区分	内容
①緑地・樹木の保全	計画的な土地利用の推進による緑地等の確保
②農地の保全	農地の多面的機能に関する情報提供
④ふれあいの機会の充実	自然とのふれあいや自然の大切さを学習する機会の提供
⑤まちの緑化	事業所敷地内の緑化の促進
⑥生物多様性の保全	市内の自然環境の分布や動植物の実態調査の実施
⑦生態系ネットワークの形成	緑のネットワーク化の推進
⑧外来種対策	外来生物対策に係る情報を発信

分野別目標 ⑤	暮らしやすい快適なまちづくり
---------	----------------

1 「施策」の目標に向けた進捗度合いを示す「指標」の推移

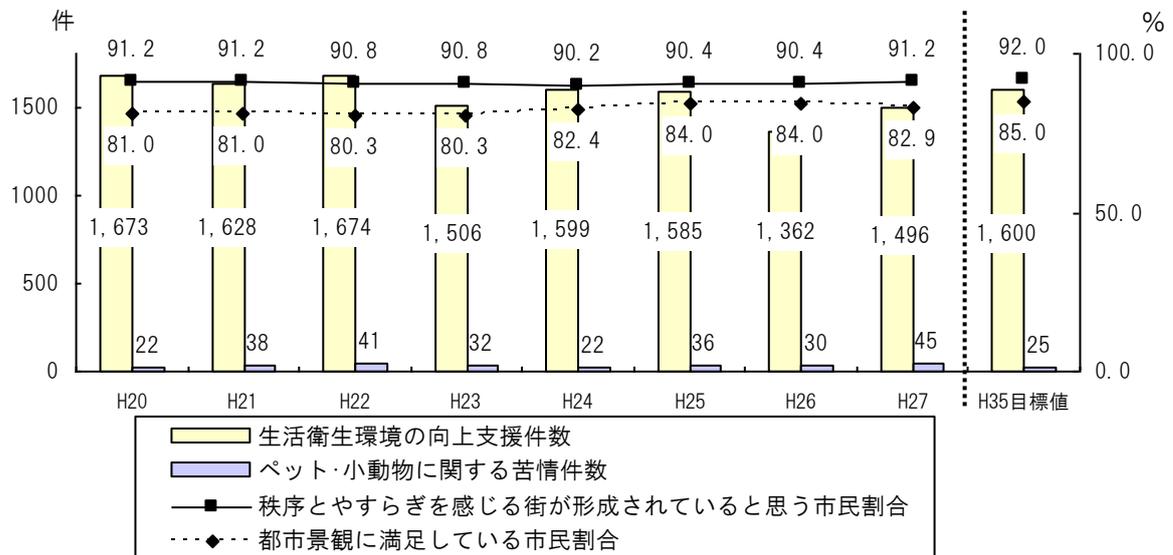
施策5-1 安全で健康な暮らしを守る

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
下水道普及率	63.7%	67.4%	69.1%	83.0%	○
快適な生活衛生環境だと思う市民の割合	69.5%	73.3% (H25データ)	71.9%	72.0%	△
生活衛生環境に関する苦情の解決率	96.6%	96.6%	96.6%	97.0%	△
生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合	59.5%	51.8% (H25データ)	57.7%	60.0%	△
BODの主要河川での改善数値 再掲	6.4mg/リットル	5.1mg/リットル	4.2mg/リットル	8.0mg/リットル 以下	○
水質を維持しているため池数	4箇所	5箇所	5箇所	7箇所	○



施策5-2 快適でゆとりある都市空間をつくる

指標名	基準値 (H24)	実績値 (H26)	実績値 (H27)	長期目標値 (H35)	評価
生活衛生環境の向上支援件数	1,599件	1,362件	1,496件	1,600件	×
ペット・小動物に関する苦情件数	22件	30件	45件	25件	×
秩序とやすらぎを感じる街が形成されていると思う市民割合	90.2%	90.4% (H25データ)	91.2%	92.0%	△
都市景観に満足している市民割合	82.4%	84.0% (H25データ)	82.9%	85.0%	△
生活衛生環境を保全する活動を行っている市民の割合 再掲	59.5%	51.8% (H25データ)	57.7%	60.0%	△



2 主な「みんなの取り組み」の状況

①水・土の汚染対策

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
公共下水道整備を推進します。	向町、白鳳町、桜ヶ丘町、南新町、北本地ヶ原町、北原山土地区画整理事業地内の汚水管渠等の整備を進めました。(継)
公共下水道への接続や合併処理浄化槽の普及促進及び適正管理の啓発に努めます。	9月10日の下水道の日に合わせて浄化センターにて下水道講座や施設見学等の普及促進啓発イベントを開催しました。(新)
生活排水対策に関する情報提供・啓発に努めます。	農政講座等の料理講座において、生活排水改善に関する啓発を実施しました。(継)
市民 生活排水浄化に関心を持ち、生活排水クリーン推進員の活動に参加します。	地域婦人団体連絡協議会の会員3人が、生活排水クリーン推進員の活動に参加しました。(継)
事業者 工場排水に関する情報提供を行うなど、地域からの要望に対応します。	市内の2工場が、市が実施する工場排水調査(全リン、全窒素など8項目)に協力しました。(継)

②大気汚染、騒音・振動の防止

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
公共交通網の充実に努めます。	市営バスに係る運行方法の検討を行い、ルートを見直し、日祝日の運行や平日の本数を増加しました。(新)
駅・駅周辺施設を充実させ、公共交通の利用を促進します。	旭前駅のバリアフリー化や公衆トイレの設置に向け鉄道事業者と協議を進めました。また、三郷駅の駅前広場を含めた駅周辺の整備に向けた取り組みを地域住民の方々と行いました。(継)
幹線道路交通の円滑化に努めます。	都市計画道路霞ヶ丘線の用地買収を進めました。(継)
道路交通騒音や振動に関する調査、防止対策を実施します。	名古屋瀬戸線、春日井長久手線を対象として、自動車騒音常時監視を行いました。(継)
自転車等駐車場の維持管理に努めます。	自転車等駐車場の防犯灯の照明修繕、防犯カメラ、フェンスの修繕を行い維持管理に努めました。(継)
事業者 ノーカーデー運動を事業者、市と協力して進めます。	事業者が、毎月第1水曜日を「ノーカーデー・「エコモビの日）」とし、職員に省エネルギー活動を呼びかけました。(継)

③有害物質、その他公害への対応

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
有害化学物質等の情報の提供に努めます。	建物解体時のアスベスト対策について啓発しました。(継)
市民 浄化槽の適正管理に努めます。	市民が、浄化槽の法定検査を毎年1回行い、適切な維持管理状況を確認しました。(継)
事業者 化学物質の管理適正使用を徹底し、環境に負荷をかけないようにします。	市内事業者が、愛知県の指導要綱に基づき、ゴルフ場における農薬使用状況を市へ報告しました。(継)

④良好な生活環境づくり

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
屋外広告物の適正化や電柱地中化など、都市景観の向上を図ります。	違反広告物除却団体に認定された3団体と共に、市内の違反屋外広告物除却のため路上広告物パトロールを実施しました。(継)
歩行空間の整備や維持管理のほか、自転車走行空間の整備を推進します。	歩道の段差解消を進めたほか、市内の自転車ネットワーク計画の策定に向けて検討を進めました。(継)
公共施設や駅及び駅周辺のバリアフリー化を推進します。	旭前駅のバリアフリー化や公衆用トイレの設置に向け鉄道事業者と協議を進めました。また、三郷駅の駅前広場を含めた駅周辺の整備に向けた取り組みを地域住民の方々と行いました。(継)
未整備地区での基盤整備や老朽化した施設の管理のあり方などの検討を進めます。	総務省から全国の地方公共団体に対し、公共施設等総合管理計画の策定要請があり、本市の取り組みとして、計画策定の前段作業となる「公共施設等現況調査業務」「公共施設カルテの作成」を実施しました。(新)
都市景観への関心の向上を図ります。	景観フォトサロンをホームページで公表し、景観はがきを作成するなど啓発に努めました。(継)
市民団体 地域の祭りや伝統行事などに積極的に参加します。	各無形民俗文化財保存会が、地域の祭り等に参加し、伝統芸能を披露しました。(継)
市民 地域の祭りや伝統行事などに積極的に参加します。	市民が、市制45周年事業として「警固」を実施し、棒の手、馬の塔の演技等を披露しました。(新)また、「ふるさとガイド旭」講師の史跡めぐりや郷土の歴史講座に参加し、市内の史跡や文化財など、地元の歴史について理解を深めました。(継)
市民 あさひ景観フォトサロンに参加し、都市景観に関心を持ちます。	市民が、市内の守り育てたい景観や、愛着のある景観などを撮影し、あさひ景観フォトサロンへ投稿しました。(継)

⑤環境美化

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
環境美化意識の浸透に努めます。	校区社会福祉推進協議会の協力のもと、「まち美化大作戦」事業を開催し、市内の一斉清掃を行いました。(継)
空き地や空き家の雑草管理の徹底を図ります。	シルバー人材センターと、空き地・空き家の管理に関する協定を締結しました。(新)
市民 公園や街路樹などの維持管理に協力します。	市民が、公園愛護会に参加し、公園の清掃や除草活動を行いました。(継)
事業者 清掃活動などの地域活動に協力します。	市内事業所の社員等が、市民団体主催の「矢田川一斉クリーン大作戦」に参加しました。(継)

⑥マナーの向上

みんなの取り組み内容	平成27・28年度の取り組み状況
放置自転車、放置自動車、違法駐車防止に努めます。	各季実施する交通安全市民運動の際に放置自転車等の啓発を実施しました。また、各自転車等駐車場において、整理委託業者により、放置されていると思われる自転車等へ警告札を取り付け、放置防止に努めました。(継)
不法投棄、ポイ捨ての現状を把握し、防止対策に努めます。	不法投棄防止キャンペーン中に広報に記事を掲載し、周知を図りました。(継)
動物飼育マナーや犬、猫などのふん害防止のための啓発に努めます。	「愛犬出前しつけ方教室」を開催し、ふん害防止グッズを配布しました。(継)
「地域ねこ活動」への支援を促進します。	地域ねこの避妊等手術費の一部を補助するとともに、同活動への理解促進のための啓発を行いました。(継)
市民 「地域ねこ活動」に協力し、飼い主のいない猫を削減します。	市民が、「地域ねこ活動」に賛同して同活動に登録し、避妊去勢手術やトイレの清掃等を実施して、野良猫の適切な管理へとつなげました。(継)



④良好な生活環境づくり
～市制45周年事業「警固」



⑥マナーの向上
～愛犬出前しつけ方教室

3 今後より一層の「みんなの取り組み」が必要な主なことがら

みんなの取り組み区分	内容
①水・土の汚染対策	市民ボランティアによる地域の環境監視の実施
②大気汚染、騒音・振動の防止	市民や事業者と協力したノーカーデー運動の実施
④良好な生活環境づくり	地域の歴史や文化を生かした都市空間の形成
⑤環境美化	環境美化意識の浸透
⑥マナーの向上	不法投棄、ポイ捨ての防止対策

みなさまのご意見・ご感想をお寄せください！アイデア募集！

尾張旭市では、市民・市民団体、事業者のみなさまからの声を環境行政に反映させていただくため、この環境基本計画年次報告書の内容について、意見・感想を募集しています。

それぞれの取組みが、より良い方向に進めるようなアイデア、感想、チョット言いたいんだけど・・・といったこと、また、年次報告書の内容全般について等、何でもかまいません。

1 意見等の締切日

平成29年2月9日（木）

2 意見等の提出先及び提出方法

(1) 提出先

尾張旭市役所 環境課

(2) 提出方法

ア 郵送の場合

〒488-8666 尾張旭市東大道町原田2600番地1

（住所は書かなくても届きます。）

イ FAXの場合

0561-52-0831

ウ 電子メールの場合

kankyou@city.owariasahi.lg.jp

※ 様式は自由です。なお、最終頁に参考様式を掲載していますので、ご利用ください。また、意見等を提出の際には必ず住所・氏名・年齢をご記入ください。なお、電話での意見は受け付けませんのでご了承ください。

※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています。（意見部分のみ）

※ ご記入いただいた個人情報については、意見等のとりまとめ以外の目的には使用しません。

3 問い合わせ先

尾張旭市役所 環境課環境政策係 TEL：0561-76-8134（直通）

(参考様式)

「平成28年度 環境基本計画年次報告書」に関する意見等記入シート

氏名		年齢	
住所			

キ
リ
ト
リ

※ お寄せいただいた意見等は、翌年度の年次報告書作成の参考にさせていただくとともに、その意見に対する市の考え方について、ホームページなどでの公表を予定しています。(意見部分のみ)

※ ご記入いただいた個人情報については、意見等のとりまとめ以外の目的には使用しません。

提出先…尾張旭市役所 環境課

▽郵送の場合：〒488-8666

尾張旭市東大道町原田2600番地1 (住所は書かなくても届きます。)

▽FAXの場合：(0561) 52-0831

▽電子メールの場合：kankyou@city.owariasahi.lg.jp